

令和6年度事業報告

専門学校 日本自動車大学校の運営並びにその活動

目 次

(1) 授業の実施	2
(2) 教育内容、設備の充実	6
(3) 業界の技術教育、生涯教育及び国際協力等への支援協力	11
(4) 学校環境の整備、充実	13
(5) 地域への活動	13
(6) 求人・就職状況	14
(7) 就職・進路指導の実施	15
(8) 学生募集活動、広報活動の実施	16

(1)授業の実施

1) 教育計画に基づいて次の授業を実施した。

自動車整備科及び自動車研究科 1・2 年次

区 分	科 目	時間数			
		1 学年		2 学年	
学 科	一般教養	8 0	5 6 8	4 0	3 0 8
	自動車工学・整備	4 2 2		2 4 2	
	機器の構造取扱	4 0			
	関係法規	2 6			
	自動車検査			2 6	
実 習	工作実習	4 4	6 7 6		8 4 4
	測定実習	4 4			
	自動車整備作業	5 4 8		8 2 0	
	自動車検査	4 0		2 4	
課 外	課外授業	2 7 8		2 9 4	
合 計		1 , 5 2 2		1 , 4 4 6	

自動車研究科 3 年次 (開講のべ時間数)

区 分		科 目		時間数	
学 科	国土交通省指定学科		3 9 0		8 5 0
	国土交通省指定外学科	教養学科	1 9 0		
		選択学科	2 7 0		
実 習	国土交通省指定実習		7 5 0		
	国土交通省指定外実習		5 0 0		
課 外	課外授業		2 2 4		
合 計			2, 3 2 4		

自動車研究科 4 年次 (開講のべ時間数)

自動車研究科 1年次 (開講科目・時間数)				
区 分	科 目		時間数	
学 科	国土交通省指定学科		3 0	1 8 0
	国土交通省指定外学科	教養学科	2 0	
		選択学科	1 3 0	
実 習	国土交通省指定実習		1, 1 6 0	2, 3 0 0
	国土交通省指定外実習	選択実習	2 9 0	
		研修・研究	8 5 0	
課 外	課外授業		2 0 0	
合 計			2, 6 8 0	

カスタマイズ科

区 分	科 目	時間数	
学 科	教養学科	2 6	2 9 6
	車わく車体構造	7 0	
	車わく及び車体の加工	1 6 0	
	法令関係	4 0	
実 習	車わく車体の加工作業	9 1 0	9 9 0
	自動車検査作業	8 0	
課 外	課外授業	2 0 0	
合 計		1, 4 8 6	

モータースポーツ科

区 分	科 目	時間数	
学 科	モータースポーツ・プランニング	9 0	3 7 0
	ガレージ・メンテナンス	1 6 0	
	サーキット・サービス	1 2 0	
実 習	モータースポーツ・プランニング	5 0	9 5 0
	ガレージ・メンテナンス	4 5 0	
	サーキット・サービス	4 5 0	
課 外	課外授業（一般教養，講演，行事）	1 1 8	
合 計		1, 4 3 8	

※ モータースポーツ・プランニング

モータースポーツに関わる企画，運営，管理能力の養成

※ ガレージ・メンテナンス

レース参戦車両の製作技術等の習得

※ サーキット・サービス

各サーキット及びドライバーに合わせた車両セッティング技術の習得

2) 各種資格取得の為、次の試験を受験した。

資格の種類	試験日	学年	備 考
ガス溶接技能講習	4・5・6月	1 学年	厚生労働省 技能講習
アーク溶接業務特別教育	4・5・6月	1 学年	厚生労働省 特別教育
電気自動車の整備等に係る特別教育	4・5・6月	2 学年	厚生労働省 特別教育
1 級自動車整備士口述試験	5 月 1 2 日	卒業生	日本自動車整備振興会連合会
J A F 公認審判員講習	5 月 1 4 日	モータ	日本自動車連盟
J A F 国内 A 級ライセンス講習	5 月 1 5 日	モータ	日本自動車連盟
第二種電気工事士筆記試験	5 月 2 6 日	研 3 年	電気技術者試験センター
技術英語検定	6 月 8 日	研 4 年	日本技術英語協会
損害保険募集人資格	6 月 25・27・28 日	2 学年	日本損害保険協会
第二種電気工事士技能試験	7 月 2 0 日	研 3 年	電気技術者試験センター
L S F A ファーストエイド	9 月 1 0 ・ 1 1 日	モータ	L S O モータースポーツ ライフセービング機構
ソーシャル検定中級	9 月 1 4 日	1 学年	全国自動車大学校・ 整備専門学校協会 検定試験
ソーシャル検定上級		3 学年	
2 級二輪自動車整備士試験	1 0 月 6 日	研 3 年	日本自動車整備振興会連合会
L S F A ファーストエイド	1 0 月 1 6 日	カスタ	L S O モータースポーツ ライフセービング機構
3 級簿記検定	1 1 月 1 7 日	研 3 年	日本商工会議所
L S F A ファーストエイド	1 2 月 9 日	研 3 年	L S O モータースポーツ ライフセービング機構
巻上機運転特別教育	1 2 月 1 2 日	研 3 年	厚生労働省 特別教育
職業訓練指導員	1 月 1 2 日	研 3 年	東京都知事 資格試験
運行管理者	3 月 6 日	研 3 年	運行管理者試験センター
3 次元 C A D 利用技術者試験 2 級	3 月 7 日	研 3 年	コンピューター教育振興協会
1 級自動車整備士	3 月 2 3 日	研 4 年	日本自動車整備振興会連合会
2 級自動車整備士		2 学年	

3) 課外授業として次の行事を実施した

学 年	実 施 日	行 事	実施場所
整・研1学年	4月 6日	入学式	
2, 3, 4学年	4月 8日	始業式	
全学年	4月11日	交通安全祈願祭	
全学年	4月18日	防災避難訓練	
整・研2学年	4月23日	健康診断	
研3・4、カスタ、モ	4月24日	健康診断	
整・研1学年	4月25日	健康診断	
研3・4学年	4月26日	親睦バーベキュー	
整・研1学年	5月15・16・21日	親睦バーベキュー	
整・研1・2学年	5月17日	軽ダート模擬走行	
カスタ	5月22日	親睦バーベキュー	
整・研1学年	5月22・23日	スズキ・フレッシュマン・セミナー	
研3・4学年	5月24日	人とくるまのテクノロジー展見学	パシフィコ横浜
整・研2学年	6月 4日	年金セミナー（佐原年金事務所）	
整・研1学年、カスタ	6月 5日	千葉運輸支局 セミナー	
研3学年	6月 6日	リサイクル工場見学	カーレポ（株）
全学年	6月10・11・12日	献血（参加者191名、献血量合計61,200cc）	
研3・4学年	6月21日	設計製造ソリューション展見学	東京ビッグサイト
カスタ	6月28日	製作案発表会	
全学年	7月31日	文 月 式	
全学年	9月 2日	長 月 式	
整・研2学年	9月10・11・12日	ドライビング・トレーニング	
研3学年	9月11・12日	SAE見学及び矢作産業様見学	愛知県
整・研1学年	9月25日	マツダ・セミナー	
全学年	9月26日	SAE報告会	
研3・4学年	9月26日	SAE懇親会	
全学年	10月 4日	体 育 祭	
整・研2学年	10月10・11・15日	親睦バーベキュー	
研3学年	10月25日	メルセデス・ベンツセミナー	
整・研1学年	10月31日	日野自動車レーシングトラックセミナー	
全学年	10月31日	軽ダート大会	
整・研2学年	11月 6日	税金セミナー（成田税務署）	
研3学年	11月12日	技術アジャスターによる安全運転啓蒙講座	
研3学年	11月14日	日産自動車EVセミナー	
整・研1学年	11月21, 22, 27, 28日	ドライビングトレーニング	
整・研1学年	12月 5日	いすゞ・セミナー	
研3学年	12月 5日	NGKスパークプラグ講習会	

研 3 学年	1 2 月 6 日	いすゞセミナー	
整・研 1 学年	1 2 月 1 6 日	ホンダ・セミナー	
全学年	1 2 月 2 0 日	年末式	
全学年	1 月 8 日	年頭式	
整・研 2 学年	1 月 9 日	全国統一模擬試験（2 級ガソリン・ジーゼル）	
全学年	1 月 1 0 日, 1 1 日, 1 2 日	東京オートサロン見学	幕張メッセ
研 3 学年	1 月 2 1 日	B M W セミナー	
研 3 学年	1 月 2 2 日	ボルボセミナー	
整・研 1 学年	1 月 2 9 日	カローラ千葉 F C V セミナー	
全学年	2 月 5、6、7 日	献血（参加者 177 名、献血量合計 63,000cc）	
研 4 学年	2 月 4 日	全国統一模擬試験（1 級筆記）	
	2 月 1 2 日	全国統一模擬試験（1 級口述）	
研 4 学年	2 月 1 9 日	卒業研究発表会	
整・研 1 学年	3 月 1 日	全国統一模擬試験 3 級（ガソリン・ジーゼル・シャシ）	
全学年	3 月 1 5 日	卒業式	

前期終業式 整・研1年： 1 0 / 9 ， 整・研 2 年： 9 / 1 8 ， 研3年： 1 0 / 8 ， 研4年 1 0 / 7 ，

カスタ： 9 / 1 9 ， モータ： 1 0 / 1

後期始業式 整・研1年： 1 0 / 2 3 ， 整・研 2 年： 1 0 / 2 ， 研3年： 1 0 / 2 5 ， 研4年： 1 0 / 1 7 ，

カスタ： 1 0 / 2 ， モータ： 1 0 / 1 7

後期終業式 整・研1年： 3 / 2 5

（２）教育内容、設備の充実

1) 共通

- ・自動車整備科 1 ・ 2 年生や袖ヶ浦校の学生を対象に学内進級説明会並びに体験実習会等を実施し、技術的見聞や向上心を高めると共に、上級学科への進級率向上対策を実施中である。

① 1 年生対象進級説明会 （4 月 9 日 全体）

② 袖ヶ浦校学生対象 上級 3 科説明会 （1 0 月 9 日）

③ 1 ・ 2 年生対象 各科個別進級説明会（H R、一般教養含む）を各教室にて実施

④ 1 年生対象体験進級（1 1 月 2 1 日～ 2 8 日実施 各教室 袖ヶ浦校合同）

⑤ 1 年生 保護者対象進路説明会（1 2 月 1 日開催）

- ・教職員の技術力、指導力向上を図るため、下記の各メーカー並びに団体主催の講習会に参加させた。

① 株式会社スバル『航空宇宙部門』見学会（7 月 2 4 日）

② いすゞグループ メカニズム学習会（8 月 1 日）

③ 千葉県専修学校各種学校協会 中堅教員研修（8 月 6 日～ 7 日）

④ 日産技術講習会（8 月 7 日）

⑤ 千葉県専修学校各種学校協会 新任教員研修（8 月 8 日～ 9 日、8 月 2 0 日～ 2 3 日）

⑥『2024年度全国日産ブロックサービス技術大会』応援見学（10月16日）

栃木会場

茨城日産自動車株式会社 所属 染谷 昭仁（自動車整備科15期・カスタマイズ科8期）

関東会場

千葉日産自動車株式会社 所属：崎山 将貴（自動車研究科23期）

日産プリンス千葉販売株式会社 所属：大窪 駿太 監督参加

（モータースポーツ科10期）

⑦マツダ・ファンフェスタ観戦（富士スピードウェイ・10月19日）

⑧マツダセミナーIN広島（11月2日～3日）

⑨日本自動車輸入組合（JAIA）イベント、講演視察（11月15日）

⑩トヨタL&F技能競技大会 応援見学（11月16日）

⑪全国自動車大学校・整備専門学校協会「質保証研究会」（2月19日）

⑫茨城トヨペット サービス スキル コンテスト 応援視察（3月4日）

⑬千葉県私学教育振興財団主催の令和6年度公開講座・講演会「昨今の異常気象と身近に出来る防災対策」を教職員5名が受講した。（3月8日）

- ・CAD教育用3D-CADソフト（CATIA）のライセンスを更新し、最新のソフトウェアを活用した設計技術等の向上を図った。
- ・教材及び校用車としてトヨタクラウン（AZSH32-CEVGB）を購入した（9月）
- ・教材及び校用車として三菱エクリプスクロス（3DA-GK9W）を購入した。（11月）
- ・教材及び校用車としてVOLVO V40（LDA-MD4204T）を購入した。（1月）
- ・教材及び校用車としてBMW 218d（3DA-7M20）を購入した。（1月）
- ・下記の車両等を教材及び校内管理車両として寄贈、貸与いただいた。
 - a) 株式会社ヤナセ：メルセデスベンツ（A200dセダン）1台貸与（継続）
 - b) 東邦オート株式会社：ボルボ C4 Recharge Ultimate Twin Motor 1台貸与（継続）
 - c) 千葉スバル株式会社：BRZ（3BA-ZD8）1台寄贈
 - d) 新光重機株式会社：ミニ・ユニボ 1台貸与
 - e) 千葉県ホンダ会：ホンダ N-ONE（DBA-JG1）3台寄贈
 - f) 株式会社モトーレンレピオ：BMW（118i）1台貸与
 - g) トヨタL&F千葉株式会社：フォークリフト（GENE B）1台寄贈
- ・西尾レントオール株式会社様より、スポットクーラー20台（自動車整備科6台、自動車研究科6台、カスタマイズ科4台、モータースポーツ科4台）を貸与いただくと共に、軽ダートCUP開催時にオフィシャル用として高所作業車を貸与いただいた。
- ・令和6年度卒業・修了生一同から卒業記念品として、技能競技大会優勝旗並びに視聴覚教材65インチ大型液晶モニター5台を寄贈いただいた。（3月15日）

2) 自動車整備科

- ・HV、EV、FCVなどの次世代車を使用した実習を展開し、構造の理解、点検整備技術の習得を図ると共に、試乗を実施して走行性能や機能についての確認を行った。
- ・エーミング（機能調整）に関する授業を展開し先進安全装置搭載車の構造を理解すると共に点検整備技術の習得を図った。

- ・衝突被害軽減ブレーキ及び踏み間違い時加速抑制装置等の作動を体験し、装置の作動条件や機能の有効性に関する確認を行った。
- ・自動車工学用デジタル教材「Key tool Box」 3 級課程、2 級課程を導入し、静止画では伝わりづらい展開図や作動を 3 D 画像で説明することで理解度の向上を図った。
- ・夏期休暇期間において教室・実習場・実習車両等の点検、補修を実施し、教育環境の充実を図った。
- ・下記の各企業様主催の学生向けセミナーを実施していただいた。

- ① 5 月 2 2、2 3 日 スズキ・フレッシュマン・セミナー（整・研 1 年）
- ② 9 月 2 5 日 マツダ・セミナー（整・研 1 年）
- ③ 1 0 月 3 1 日 日野自動車レーシングトラックセミナー（整・研 1 年）
- ④ 1 2 月 5 日 いすゞセミナー（整・研 1 年）
- ⑤ 1 2 月 1 6 日 ホンダセミナー（整・研 1 年）
- ⑥ 1 月 2 9 日 カローラ千葉 F C V 講習（整・研 1 年）
- ⑦ 2 月 1 3 日 スズキ技術セミナー（整・研 1 年、2 年：希望者 放課後）

3) 自動車研究科

- ・令和 5 年度 1 級自動車整備士課程修了の卒業生を対象に口述試験対策を実施した。
(4 月 2 9 日～5 月 1 日)
 - ・1 級自動車整備士コース 4 年次において、国土交通省指定によるインターンシップ（体験実習）を実施した。
(5 月 1 4 日～7 月 2 4 日)
 - ・各自動車メーカー主催の技術講座に参加し、学生フォーミュラ大会参戦車両設計に伴う技術開発力向上に努めた。
- ① 5 月 2 5 日～2 6 日 本田技研工業主催 F－S A E チャレンジ講座 D a y 1、2
(オンライン)
 - ② 6 月 2 日 本田技研工業主催 F－S A E チャレンジ講座 D a y 3
(オンライン)
 - ③ 1 0 月 5 日～ 6 日 本田技研工業主催 応用講座（オンライン）
 - ④ 1 0 月 1 2 日 本田技研工業主催 サスペンション講座
(モビリティリゾートもてぎ)
 - ⑤ 1 0 月 1 6 日 ヤマハ発動機主催 強度設計講座（オンライン）
 - ⑥ 1 1 月 1 6 日、1 7 日
2 3 日、2 4 日 日産自動車主催 日産サポート講座（オンライン）
 - ⑦ 1 1 月 2 2 日 A n s y s 主催 初級ユーザーセミナー（オンライン）
 - ⑧ 1 1 月 2 3 日 自動車技術会主催 静的交流会（名古屋大学）
- ・下記の企業様主催の技術講習会を実施して頂いた。
- ① 1 0 月 2 5 日 メルセデス・ベンツセミナー（3 学年）
 - ② 1 1 月 1 2 日 技術アジャスターによる安全運転啓蒙講座（3 学年）
 - ③ 1 1 月 1 4 日 日産自動車 E V セミナー（3 学年）
 - ④ 1 2 月 5 日 N G K スパークプラグ講習会（3 学年）
 - ⑤ 1 2 月 6 日 いすゞセミナー（3 学年）
 - ⑥ 1 月 2 1 日 B M W セミナー（3 学年）

⑦ 1月22日 ボルボセミナー（3学年）

- ・第22回学生フォーミュラ日本大会2024に「FFN-13」で参戦し、すべての審査を受け、日本自動車工業会会長賞、耐久走行賞1位、加速性能賞2位を受賞し、総合4位を獲得した。

第22回 学生フォーミュラ日本大会2024 大会成績（エントリー120チーム）

【静的審査結果】

コスト審査 : 13位
プレゼンテーション審査 : 14位
デザイン審査 : 31位

【動的審査結果】

アクセラレーション : 2位
スキッドパッド : 10位
オートクロス : 6位
エンデュランス : 1位
燃料効率 : 13位

【最終順位】

総合 : 4位
耐久走行賞1位受賞
加速性能賞2位受賞
日本自動車工業会会長賞受賞

- ・Ansys Simulation World 2024のポスターセッションに出展し、「Ansys賞」を受賞した。（10月23日）

4) カスタマイズ科

- ・産学共同プロジェクトとして次の各企業様から車両並びに部品のご提供・ご協賛を頂き、今年度は3台のカスタムカーを製作した。

① 千葉スズキ販売株式会社様よりキャリー(DC51T)の車体を寄贈いただいた。

② 南関東日野自動車株式会社様より実習教材援助費を寄付いただいた。

③ 千葉トヨタ株式会社様、ネッツトヨタ千葉株式会社様、トヨタL&F千葉株式会社様からトヨタ86の部品をご協賛いただいた。

④ 昭和トラスト様よりトヨタ86の部品をご協賛いただいた。

⑤ トヨタカローラ千葉株式会社様より実習教材援助費を寄付いただいた。

⑥ 桃伎舎株式会社様より実習教材援助費を寄付いただいた。

⑦ 矢作産業株式会社様より実習教材援助費を寄付いただいた。

⑧ 新光重機株式会社様より実習教材援助費を寄付いただいた。

⑨ 株式会社トランスウェブ様より実習教材援助費を寄付いただいた。

- ・カスタムカーを製作するにあたり、協賛企業様17社と卒業生2名をお招きし、学生たちの対話能力の向上を図るため製作案発表会を実施した。

- ・株式会社YMG1様をお招きしカーラッピングの座学・実技講習を行い特殊技術習得を図った。（7月24日）

- ・東京オートサロン2025に製作した車両3台を出展した。また産学共同プロジェクトとして千葉マツダ様のロードスターも同時展示を行った。

- ・広報活動の一環として各イベントにカスタムカー、カスタムバイクを出展した。
ジョイツ カスタムバイクショー2024出展（4月14日）
（NATSコロナOG カスタマイズ科26期製作カスタムバイク）COOL賞受賞
ニューオーダーチョッパーショー出展（9月1日）
（カスタムバイク）COOL賞受賞
ホッドロットカスタムショー2024出展（12月1日）
（NATSコロナOG カスタマイズ科26期製作）BESTPAINT賞、高速有鉛賞受賞
- ・千葉県内を2日間の工程において、テストランキャラバンを実施し、車両の完成度を確認した。（3月6日～7日）
- ・エアーコンプレッサの老朽化に伴い、1台のオーバーホールを実施し、教育環境の充実を図った。

5) モータースポーツ科

○ガレージメンテナンス実務

レーシングカーを使用し車両整備技術の向上を図ると共に、モノづくりに重点を置いた授業を展開し、学生のモノづくりに関する知識・技術の習得を図った。

- ・フォーミュラビート車両（旧JAF-F4）のメンテナンス及び車両開発
（サスペンションアーム、ウイング、カウル等、NATSオリジナルパーツの製作）
- ・ツーリングカー車両のメンテナンス及び開発
（ロールケージ製作、板金塗装、エアロパーツ等の部品製作）
- ・スーパー耐久レース車両の製作、メンテナンス及び車両開発
- ・旋盤、フライス盤等の機械加工, TIG溶接機等を使用しての部品製作・加工

○サーキットサービス実務

a) 下記レース活動を通じ、迅速で正確な作業、セッティング能力の習得を図った。

① フォーミュラビート（F-B e）シリーズ参戦（4大会7レース）

72号車 シリーズランキング 4位獲得

	第6戦	第7戦	第8戦	第9戦	第14戦	第15戦	2025第1戦
	6/22	6/23	7/20	7/21	11/9	11/10	2/23
# 72	2位	9位	3位	3位	2位	優勝	優勝
# 0	15位	12位	7位	10位	11位	8位	—

※ F-B e の0号車はオーナーの渡邊氏からフォーミュラ・ルノー車両をお預かりし、
F-B e 参戦のための車両開発並びにレース参戦を継続している。

②スーパー耐久シリーズ参戦

S T - 2 クラス シリーズランキング 3 位獲得

	第 1 戦	第 2 戦	第 3 戦	第 4 戦	第 6 戦	第 7 戦
2 0 2 4 年	4/20・21	5/24～26	7/27・28	9/28・29	10/26・27	11/16・17
S T - 2	2 位	4 位	3 位	2 位	5 位	5 位

※今期からドライビングマジック（山野哲也氏代表）とジョイントし、HRCからのサポートを受け、車両開発、メンテナンス及びレースサポートを授業の一環として担当している。

③各耐久レース参戦

- ・もてぎアイドラーズ夏の 1 2 時間耐久レース : クラス 1 0 位
- ・筑波 S E V 5 時間耐久レース : クラス 6 位
- ・もてぎアイドラーズ冬の 3 時間耐久レース : クラス 7 位

b) レーシング・メカニック研修については就職活動の一環として、各チームにてインターン研修という形で実施した。

○モータースポーツ・プランニング実務

企画能力を養成する為、資格の取得と実践授業の一環として下記のイベントの運営を行った。

- ・ J A F 公認審判員資格取得
- ・クラス対抗軽ダートカップ 企画・運営
- ・メディア対抗ロードスター4時間耐久レース 技術オフィシャル

○課外・その他

- ・進級促進の一環として、自動車整備科 1・2 学年の各教室前にパネルを設置し、モータースポーツ科の授業内容等紹介に関する記事を毎月掲示した。
- ・ F M ドライバーズミーティングとのコラボレーションにより、メディア対抗ロードスター 4 時間耐久レース（筑波サーキット）に学生 4 名と教員 2 名が参戦した。（9 月 2 1 日）
- ・星和産業株式会社様より、教育環境の充実化を図る一助として援助費を寄付いただいた。

（3）業界の技術教育、生涯教育及び国際協力等への支援協力

- ・工業系高校人材育成コンソーシアム千葉に参画し、千葉県内外の企業が有する産業技術、大学や研究所の知識・設備などを生かしながら、産・学・官が相互に連携して、千葉県の高등학교における工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成することに協力した。（6 月、2 月総会参加）
- ・株式会社ダブリュ・エフ・エヌと「Next Mobility 産学協同プロジェクト」を発足し、S E V 新商品に対して実験・評価を実施した。
- ・独立行政法人国際協力機構（J I C A）からの要請に基づき、オンライン技術研修（5/20, 9/20）、協力隊選考会（8/27）に成田校講師 1 名を派遣した。
- ・各大学のフォーミュラ S A E チームの車両性能試験に協力し、N A T S オートモータィブ・パーク及び各施設を貸し出すと共に情報交換を行った。

千葉大学 フォーミュラ S A E チーム（6/3, 6/6, 8/18, 10/20）

国士舘大学 フォーミュラ S A E チーム (6/23, 6/29)
 工学院大学 フォーミュラ S A E チーム (6/29, 7/15, 7/28)
 東京農工大学 フォーミュラ S A E チーム (6/30, 10/27)

- ・ 業界等の各種イベントや、車両テスト等に N A T S オートモーティブ・パーク及び各施設を貸出した。
 - ① ナイトスポーツ株式会社 ドライビングレッスン (4/10、7/18、3/6)
 - ② 株式会社イー・ビー・アイ・マーケティングドライビングレッスン (4/14、8/4、2/16)
 - ③ ブリヂストンタイヤ千葉 商品比較試乗会 (6/10、6/17、9/27、2/21、2/26)
 - ④ 自動車販売店協会 輸入車部会 合同試走研修会 (6/20、10/17)
 - ⑤ あいおいニッセイ同和損保株式会社 実験走行 (8/7)
 - ⑥ 千葉県警察本部 交通部高速道路交通警察隊 隊員訓練 (9/13、9/18～19、3/27～28、31))
 - ⑦ ラ・フェスタ・ミッレミリア (9/29)
 - ⑧ 株式会社ダブリュ・エフ・エヌ S E V 新商品実験・評価 (10/10、10/16、12/11、3/5)
 - ⑨ トラスト ファン・フェスタ (10/12, 10/13)
 - ⑩ 株式会社 Z M P 自動運転車両実験走行 (43回)
 - ⑪ SP・SRオーナーズクラブ (11/17)
 - ⑫ オーマススポーツカークラブ (12/3)
- ・ 後援会企業並びに卒業生就職先企業等の要望に対応し下記のイベントにカスタムカーを出展、貸し出した。
 - ① 株式会社ワンダープレイス カスタムカー 2 台車両展示
 - ② **ENJOY CAR WORLD MINI** (幻のちびメリ) (4/7)
 - ③ モータファンフェスタ (**NATS JIMNY J1**) (4/21)
 - ④ スーパー耐久シリーズ **N A P A C 富士 24 時間レース** イベント広場車両展示
(**NATS JIMNY J1、NATS コロナ OG**) (5/25・26)
 - ⑤ 株式会社ミック カスタムカー 2 台貸し出し (7/27・7/28)
 - ⑥ **CMG** ファンフェスタ (**NATS マックイーン、NATS メータ**) (11/17)
 - ⑦ 株式会社千葉イエローハット (**NATS マックイーン、NATS メータ**) (3/22・23)
- ・ 株式会社三平商会社員研修に協力し、技術講習を実施した。(8/8・9 受講者 7 名)
- ・ ロータス同友会会員への技術講習会を実施した。(8/21・22 受講者 10 名)
- ・ 千葉県自動車整備技能競技大会に向け、香取支部からの要請により技術トレーニングを行った。(8/14, 8/15)
- ・ **W E M G P (World Econo Move Grand Prix)** の一戦として開催される、高校生及び一般参加者が集う **E V 競技会** を主催し、施設の貸出と共に教職員が事務局並びにオフィシャルとして開催した。(11/2)
- ・ 中央職業能力協会 主催 若年者ものづくり大会 及び 技能五輪全国大会の競技用車両を要請により貸与した。(7月～8月, 11月～12月)
- ・ 芸文社 主催「ノスタルジック 2 デイズ」に袖ヶ浦校レストア車両マツダルーチェの出展に伴い、職員を派遣した。(2/23～2/24)

(4) 学校環境の整備、充実

- ・校舎内各教室並びに廊下の床洗い・WAXがけ処理を実施して環境整備を図った。
- ・「道具供養塔」を設置、建立し、工具等に関する意識の醸成を図った。
- ・イベントホール内に校歌看板を設置した。
- ・1年学生駐車場東側（佐原側）の大型看板が劣化していた為、新たに架け替えた。
- ・1年学生駐車場西側（成田側）の大型看板が劣化していた為、完全撤去した。
- ・新紙幣の発行に伴い、対応する発券機（各種証明書代・補習代用）に入れ替えた。

(5) 地域への活動

- ・大栄ライオンズクラブ主催の献血会場として本校施設を提供するとともに、学生並びに教職員が献血に参加した。
(6月10～12日 参加者191名、献血量合計 61,200cc)
(2月5～7日 参加者177名 献血量合計 63,000cc)
(平成元年開校時より、採血者延べ20,388名、総献血量7,386,000cc)
- ・下記の中学校からの依頼により職場体験学習を実施した。

東金市立 東中学校2年生	4名(2日間)
山武市立 成東東中学校2年生	5名(2日間)
九十九里町立 九十九里中学校2年生	3名(2日間)
東金市立 東金中学校2年生	6名(2日間)
- ・横芝敬愛高等学校自動車部の部活動講師として教員を派遣した。(16回)
- ・千葉県高体連自転車部合同練習にNATSオートモーティブ・パークを貸出した(4/28)
- ・成田国際文化会館からの要請により、市内の小中学校児童、生徒20名を対象に「なりたチャレンジクラブ2024 チャレンジ自動車メカニック」を開催した。8/9)
- ・学生並びに教職員が「赤い羽根募金」に協力し、千葉県共同募金会成田市支部へ28,215円を寄付した。(10月)
- ・成田市産業まつりに「FFN-13」を展示した。(11/17)
- ・大栄ふるさとふれあいまつりにカスタムカー3台の出展協力を行った。(11/23)
- ・多古町「いきいきフェスタ」におけるマイカー点検講座に職員を派遣した。(11/23)
- ・工業系高校人材育成コンソーシアム千葉を通じて要請があった千葉工業高校 理数工学科2年生に対する科目名「産業工学研究」の授業において、工業英語の分野について郷古教授が2単元授業を実施した。(12/14)
- ・佐原税務署並びに香取市租税教育推進協議会の依頼により、確定申告広報パレードにカスタムカー2台（スープラ、GT-R）と教職員2名が参加協力した。(2/9)
- ・教職員が交代で宿直を行い、学生寮並びに校内を巡回して、学生の安全と健康並びに地域の安全を守るため一年365日休まずに活動を行っている。
- ・各学生寮で毎週決められた曜日の朝に、担当教職員と入居学生が学生寮周辺の清掃活動を実施して、地域の環境保全に貢献している。
- ・学生の登下校時に国道51号線NATS入口の下田交差点を始め、ポイントとなる道路各所に教員を配置し、交通整理及び安全運転指導を実施している。
また、国道51号線グリーンベルト及び歩道の清掃を教職員が毎日実施している。
- ・地元少年野球チーム「大栄ルーキーズ」の練習場として、毎週末グラウンドを提供している。
(平成9年度より継続中)

(6) 求人・就職状況（令和7月31日現在）

	自動車整備科	自動車研究科	カスタマイズ科	モータースポーツ科	合 計
求人社数					
2024(令和6年)	367社	274社	278社	269社	436社
2023(令和5年)	442社	302社	268社	257社	462社
2022(令和4年)	395社	330社	430社	324社	416社
在籍者数					
2024(令和6年)	163名	63名	33名	19名	278名
2023(令和5年)	150名	57名	29名	27名	263名
2022(令和4年)	182名	45名	41名	24名	292名
就職斡旋希望者					
2024(令和6年)	43名	63名	33名	19名	158名
2023(令和5年)	30名	56名	29名	24名	139名
2022(令和4年)	54名	45名	40名	21名	160名
就職内定者					
2024(令和6年)	43名	63名	33名	19名	158名
2023(令和5年)	30名	56名	29名	24名	139名
2022(令和4年)	54名	45名	40名	21名	160名
研究科の進級者					
2024(令和6年)	63名				63名
2023(令和5年)	64名				64名
2022(令和4年)	67名				67名
カスタ科の進級					
2024(令和6年)	35名				35名
2023(令和5年)	35名				35名
2022(令和4年)	32名				32名
MS科への進級者					
2024(令和6年)	28名				28名
2023(令和5年)	19名				19名
2022(令和4年)	27名				27名
進路決定者数					
2024(令和6年)	163名	63名	33名	19名	278名
2023(令和5年)	148名	56名	29名	24名	257名
2022(令和4年)	180名	45名	40名	21名	286名
進路決定率					
2024(令和6年)	100%	100%	100%	100%	100%
2023(令和5年)	100%	100%	100%	100%	100%
2022(令和4年)	100%	100%	100%	100%	100%

※進路決定率＝内定者数/就職斡旋希望者

(7) 就職・進路指導の実施

1) 令和7年3月卒業・修了学生278名【日本人 千葉171・茨城47・東京5・福島4・静岡4・長野4
沖縄3・神奈川2・埼玉2・岩手2・愛知2・石川2・福岡2・兵庫1・宮城1・山梨1・北海道1・秋田1
三重1・京都1・福井1・奈良1・和歌山1・愛媛1・香川1（日本人合計262名）

留学生 スリランカ2・ベトナム9・中国5（留学生合計16名）】を対象に個人面談を実施し、学内
進級率の向上及び就職希望者に対しては企業斡旋を実施した。

2) 企業奨学金制度の斡旋

教育部、入学相談室と連携し、在校生の就学継続及び進級の為の経済支援及びN A
T Sへの進学希望の高校生に対する経済支援を目的とした奨学金制度の充実を図
り、下記の企業の制度を活用させていただいた。

- ・トヨタカローラ千葉株式会社：自動車整備士育成支援金給付
- ・千葉トヨタグループ：自動車整備士育成支援金給付
- ・千葉スズキ販売株式会社：奨学金給付
- ・千葉日産自動車株式会社：奨学金貸与
- ・日産プリンス千葉販売株式会社：奨学金貸与
- ・茨城トヨタ自動車株式会社：奨学金貸与
- ・AUD カーズ株式会社：奨学金返済支援
- ・株式会社千葉イエローハット：奨学金支援
- ・いづみ自動車株式会社：奨学金貸与

3) 企業等の関係行事報告

5/17 軽ダート CUP 模擬走行会（1学年、2学年） 運営協力及び試乗会の実施

西尾レントオール株式会社、株式会社 CMG ホールディングス

株式会社スズキ自販京葉、トヨタ L & F 千葉株式会社、千葉スバル株式会社
株式会社 CN ホールディングス、株式会社ホンダモビリティ南関東、
ダイハツ千葉販売株式会社

6/28 2025 東京オートサロン製作案 発表会 成田校・袖ヶ浦校 合同実施

千葉トヨタ自動車株式会社、ネットトヨタ千葉株式会社

トヨタ L&F 千葉株式会社、株式会社千葉マツダ、千葉日産自動車株式会社
日産プリンス千葉販売株式会社、トヨタカローラ千葉株式会社

千葉スズキ販売株式会社、株式会社スズキ自販京葉、
株式会社スズキ自販千葉、桃伎舎株式会社

8/19 東京海上日動調査サービス株式会社 市川研修センター見学（長岡）

9/20 軽ダート CUP 走行会（1 学年） 運営協力及び試乗会の実施

西尾レントオール株式会社、株式会社 CMG ホールディングス

株式会社スズキ自販京葉、千葉スズキ販売株式会社

トヨタ L & F 千葉株式会社、株式会社ホンダモビリティ南関東、
ダイハツ千葉販売株式会社

10/4 『NATS 体育祭 車両展示会』実施

株式会社 CMG ホールディングス、株式会社 CN ホールディングス、

株式会社スズキ自販京葉、株式会社ホンダモビリティ南関東、

ダイハツ千葉販売株式会社、桃伎舎株式会社、新光重機株式会社、
千葉スバル株式会社

10/31 軽ダート CUP 本大会（成田校、袖ヶ浦校）運営協力及び試乗会の実施

西尾レントオール株式会社、株式会社 CMG ホールディングス、

株式会社スズキ自販千葉、株式会社スズキ自販京葉、

千葉スズキ販売株式会社、トヨタ L & F 千葉株式会社

ダイハツ千葉販売株式会社

11/ 5 千葉マツダ 『第 51 回マツダ社内サービス技術競技大会』見学

1/10～12 株式会社 CMG ホールディングス 『2025 東京オートサロン共同出展』実施

1/20 株式会社ホンダカーズ市川 『全社員大会』開催（長岡）

2/5～7 新光重機株式会社 『献血会場 重機イベント』実施

4）後援会企業及び求人先企業を中心に情報交換を行い、採用状況の確認を行うと共に採用依頼を行った。

5）自動車整備科 1 年生・自動車研究科 3 年生に対し進路ガイダンスを実施した。

（８）学生募集活動、広報活動の実施

1）千葉・茨城を第一順位、東京・神奈川を第二順位と位置づけ、県内では袖ヶ浦校と連携を図り、県外では卒業生（同窓生）の協力を得て、高等学校や日本語学校などへの学生募集活動を実施した。

2）高等学校や校外会場で行われる説明会・模擬授業に参加することで、多くの高校生にアプローチを行い、オープンキャンパスなどへの参加を促進した。

3）高等学校主催の文化祭等に参画し、「ドライビング・シミュレーター」を活用することで、高校生の自動車に対する魅力づけを行った。（9/13・14 東京学館高等学校、10/26・27 平塚工科高等学校、11/2・3 小田原城北工業高等学校）

4）留学生専用パンフレットを製作し、全国の日本語学校に発送、学校訪問及び説明会等において有効活用した。

- 5) 株式会社ワンダープレイス(代表取締役 石田直人氏)の協力のもとに行っている YouTube をはじめ、Instagram や X (ツイッター)、Facebook などの各種 SNS を活用した情報提供、公開を行い、ホームページへのアクセス数の増加と共に、オープンキャンパス等の動員拡大などの学生募集を実施した。
- 6) ホームページを適時更新し、SNS と連動した学生募集の充実を図った。
- 7) 千葉県専門学校協会事業運営委員会の活動に参画し、「千葉県専門学校公式ガイドブック」の作成と連絡協議会への参加を通じて、高等学校進路指導部会との情報交換を図った。
- 8) 教育部と連携を図り「工業系高等学校人材育成コンソーシアム千葉」に参画し、千葉県内の工業高等学校との連携強化を図った。
- 9) キャリア支援室と連携し、各高等学校に対し企業後援会の実施している「高校生向け奨学金」の理解を広げ、入学者の増加を図った。
- 10) 各高等学校に NATS への理解を深めてもらうため、下記の見学会を実施し、オープンキャンパス等への参加促進を図った。
 - ①千葉県立東総工業高等学校見学会 (5/24)
 - ②東京学館高等学校見学会 (6/18)
 - ③千葉県立下総高等学校見学会 (8/5)
 - ④岡山商科大学附属高等学校見学会 (12/11)
- 11) 横芝敬愛高等学校自動車部の講師として職員を派遣し、自動車部の活動運営に協力、本校への理解を深めオープンキャンパスへの参加促進を図った。
- 12) 高校生対象の進学サイトや媒体誌等に広告を掲載し、知名度の向上を図った。
- 13) 在校生の近況報告として、出身高等学校や日本語学校に対し「先輩から後輩へ」を配布し、高等学校・日本語学校との信頼関係の向上を図った。
- 14) 本校 PR 用ポスターを製作し、各高等学校に依頼し掲示をいただくことで、オープンキャンパス、授業見学会及び個別相談会への参加促進を図った。
- 15) 各イベント日程に合わせ DM を製作し、資料請求者や説明会参加者などへ情報提供を行い、イベントへの参加促進を図った。
- 16) オープンキャンパス (22 回)、授業見学会 (1 回) 及び個別相談会 (2 回) を開催し、出願者促進を図った。
- 17) 東京オートサロンへの出展に際し、高校生への来場促進及び来場者へのオープンキャンパス参加促進を図った。
- 18) 本校の教育成果等の情報を中心に、各種新聞、テレビ局、ネット媒体などへプレスリリースを実施し、学園の魅力を広く発信した。
- 19) 学内及び学園周辺の広報活動 (展示パネル、看板、横断幕など) を推進した。
- 20) NATS オートモーティブ・パーク等の学園施設を活用し、高等学校イベントや各競技会の利用頻度を高め、学園の存在価値を高めた。

【施設提供・貸出】

1. 東京都市大学附属高等学校自動車部練習走行会 (4/4)
2. 千葉県高等学校体育連盟自転車競技部練習走行会 (4/28)
3. 千葉工業高等学校自動車部練習走行会 (9/28)
4. ラ・フェスタ・ミッレミリア PC競技地点 (9/29)
5. BS日テレ おぎやはぎの愛車遍歴 収録 (4/16、4/21、8/20、9/17、10/5、2/4、2/18、3/4、3/8、3/18)

【掲載新聞】

■ 日刊自動車新聞 ■

2024年 4月18日	胸いっぱい希望 整備専門学校入学式
2024年 4月19日	道具に感謝 供養塔を建立
2024年 4月26日	整備士養成学校 学校長からのメッセージ
2024年 5月10日	NATSに教材車両を寄贈 千葉スバル
2024年 7月18日	NATS、カスタムカー製作案発表会 斬新な作品を披露
2024年 8月23日	ワイパー
2024年10月17日	整備士養成学校 在校生の声
2024年10月17日	学生フォーミュラー大会 総合4位入賞を報告
2024年11月12日	自販連千葉が輸入車合同試走会 11ブランド乗り比べ
2024年11月22日	NATSが軽ダートCUP 12チームが熱戦
2024年11月26日	NATSがEV競技会 高校生や社会人らが参加
2024年12月24日	NATS出品車両がW受賞
2025年 1月 9日	独創的でハイレベルな作品に仕上がる
2025年 1月25日	整備学校、卒業制作で渾身のカスタムカー
2025年 2月 6日	千葉県ホンダ会、NATSに教材車両を寄贈
2025年 2月18日	日本自動車大学校、成田校と袖ヶ浦校の全実習場にエアコン完備
2025年 3月 6日	カロラ千葉、NATSでFCVの講習会開催
2025年 3月 6日	トヨタL&F千葉、電動フォークリフトをNATSへ寄贈
2025年 3月25日	整備士学校で卒業式

■ 専門学校新聞 ■

2024年10月15日	日本自動車大学校 着実に上位入賞を果たす 目を見張る強豪チームに成長
2025年 1月15日	至極のカスタムマシン横浜に NATS 初出場で2冠達成

【掲載雑誌・インターネット掲載等】

YANASE LIFE

2024年夏号 ヤナセの未来へ

THE PORSCHE MAGAZINE

116号 NATS日本自動車大学校の視点

サービス戦略 Vol. 97

2024 AUTUMN 全国総合4位！ 自動車大学校1位！

JAF MATE

2024秋 整備のプロに聞く 愛車を長持ちさせるコツ

OPTION

2025年2月号 見応え十分！ 学生製作マシンが完成間近ッ！！

2025年3月号 今年も激アツ！ 奇想天外学生マシン！

ベストカー

2025.2.26号 東京オートサロン2025 完全ガイド
耐久のレイズ

カスタムCAR

2025.4月号 東西BIGモーターショーを一気見せ！
東京オートサロン&大阪オートメッセ リポート

【TV放映】

■ BS日テレ ■

4月13日	: #448	東京オートサロン2024①
4月20日	: #449	東京オートサロン2024②
5月11日	: #451	貴島孝雄 元マツダエンジニア
5月18日	: #452	愛車遍歴的意地でも維持するオーナーさん いらっ車い！！
6月 8日	: #453	堀江翔太
8月 3日	: #398	愛車遍歴的ROLAND モーターショー 俺のための車（アンコール放送）
8月31日	: #426	多田哲哉（アンコール放送）
10月 5日	: #465	Mr.ロードスターが語る！ いとしのロードスターSHOW
10月12日	: #466	荒川健
11月 9日	: #469	愛車遍歴的多田哲也哉が選ぶ推しのクルマを選びまショー
11月16日	: #470	愛車遍歴的 カー・オブ・ザ・イヤー2024
11月23日	: #471	荒川健のカーデザイン講座
1月18日	: #474	大久保嘉人
2月 1日	: #429	稲垣潤一（アンコール放送）
3月 8日	: #478	愛車遍歴的 国産旧車を意地でも維持するオーナーさん いらっ車い！！

■フジテレビ■

10月28日 : 「FNN Live News α」 “Monday Motor SPORT” コーナ

■成田ケーブルテレビ■

11月 1日 : 学生フォーミュラ大会 市長表敬訪問

■千葉テレビ■

12月24日 : #274 「モーターゾーンTV 日本自動車大学校 編」

(10) 各イベント（オープンキャンパス・授業見学会・個別相談会）参加状況及び出願状況

◎イベント参加者数

新規参加者数 : 652名 (昨年393名)

日本人 : 197名 (昨年208名)

留学生 : 455名 (昨年185名)

◎出願数

参加者数 : 652名→出願数280名

日本人 : 197名→出願数116名

留学生 : 455名→出願数164名

昨年参加者数 : 393名→出願数216名

日本人 : 208名→出願数130名

留学生 : 185名→出願数 86名

令和 6 年度

財務計算に関する書類

財 産 目 録

事業活動収支計算書

貸 借 対 照 表

監 査 報 告 書

学 校 法 人 日 栄 学 園

財 産 目 録

(学校法人 日栄学園)

令和7年3月31日 現在

日栄学園	
科 目	摘 要(総合) 金 額 (単位円)
一 資産額	
(一) 基本財産	3,389,080,097
1) 有形固定資産	3,000,801,278
1. 土地	校用地 155筆 153,753.68㎡ 1,495,273,407
2. 建物	31棟 床面積 18,690.73㎡ 1,108,062,711
3. 建物附属設備	電気・空調・衛生・給排水設備等 185,834,639
4. 構築物	正門・テストコース・看板・植樹・学生駐車場 70,285,101
5. 教育用研究用機器備品	整備機器・テスター・計測器等 1,626点 65,392,744
6. 管理用機器備品	事務用及び管理用等什器備品 159点 14,953,032
7. 車両	校用車 33輛 四輪教材車 221輛 二輪教材車 40輛 施設管理用重機等 11輛 計 305輛 60,999,644
8. 建設仮勘定	0
2) 特定資産	309,483,947
1. 退職給与引当特定資産	千葉銀行・常陽銀行外 309,483,947
3) その他の固定資産	78,794,872
1. 電話加入権	NTT電話 15回線 1,054,522
2. 施設利用権	水道設置料負担金・排水権 796,306
3. 出資金	千葉県自動車整備商工組合 1件 75,000
4. 保証金	セコム・看板設置地主 250,000
5. 自動車・バイク預託金	42輛分 811,220
6. 保険積立金	役職員生命保険積立金 35,554,224
7. ソフトウェア	サーバー構築 453,600
8. 有価証券	PWM有価証券 0
9. 成田袖ヶ浦貸借仮勘定	成田袖ヶ浦貸借仮勘定 39,800,000
(二) 運用財産	1,445,742,344
1) 流動資産	1,445,742,344
1. 現金	現金手許有高 990,777
2. 預金	1,410,333,628
当座預金	千葉興業銀行 外4口 3,799,204
普通預金	常陽銀行 外19口 595,497,504
定期預金	千葉銀行 外2口 620,000,000
積立定期	千葉銀行 外2口 191,036,920
3. 未収入金	学費延納・分納者 34,386,905
4. 仮払金	仮払金 0
5. 前払費用	次年度経費前払費用 31,034
(三) 収益事業用財産	0
資 産 額 合 計	4,834,822,441

日栄学園		
科 目	摘 要(総合)	金 額 (単位円)
二 負債額		
1) 固定負債		401,857,822
1. 長期借入金		0
2. 学校債		0
3. 退職給与引当金		401,857,822
2) 流動負債		730,266,132
1. 短期借入金	返済期限が1年以内の長期借入金	0
2. 前受金	授業料等前受金	443,158,737
3. 未払金	教材用品等購入先等	12,028,607
4. 預り金	教科書・作業服等私物購入・課外行事費用預り金他	227,103,524
5. 仮受金	仮受金	47,975,264
負 債 額 合 計		1,132,123,954
三 純財産		
1) 基本金		6,271,728,581
1. 第1号基本金		6,271,728,581
2) 繰越収支差額		-2,569,030,094
1. 翌年度繰越収支差額		-2,569,030,094
純 資 産 額 合 計		3,702,698,487
負債額・正味財産 合 計		4,834,822,441

この財産目録は、原本の写しに相違ないことを証明いたします。

令和7年5月29日

学校法人 日栄学園

理事長 矢部 明

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月 31日まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	927,352,000	927,353,091	△ 1,091
	授業料	370,812,000	370,812,614	△ 614
	入学金	94,350,000	94,350,000	0
	実験実習料	262,223,000	262,223,398	△ 398
	施設設備資金	199,967,000	199,967,079	△ 79
	手数料	12,158,000	12,158,700	△ 700
	入学検定料	7,480,000	7,480,000	0
	試験料	2,738,000	2,738,000	0
	証明手数料	1,940,000	1,940,700	△ 700
	寄付金	14,457,000	14,457,679	△ 679
	教育活動、特別寄付金、現物寄付	14,457,000	14,457,679	△ 679
	補助金	30,755,300	30,755,300	0
	国庫補助金（緊急助成金）	0	0	0
	県経常費等補助金	11,540,000	11,540,000	0
	修学支援、授業料等減免補助金	19,215,300	19,215,300	0
	付随事業収入	15,784,000	15,784,179	△ 179
	補助活動収入	15,784,000	15,784,179	△ 179
	雑収入	24,159,000	24,160,027	△ 1,027
	施設設備利用料	12,138,000	12,138,900	△ 900
	雑収入	12,021,000	12,021,127	△ 127
	教育活動収入計	1,024,665,300	1,024,668,976	△ 3,676
教育活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費支出	510,034,000	510,032,431	1,569
	教員人件費	339,014,000	339,013,119	881
	職員人件費	143,159,000	143,158,796	204
	退職給与引当金繰入額	27,861,000	27,860,516	484
	退職金	0	0	0
	教育研究経費	102,926,000	102,920,608	5,392
	消耗品費	2,412,000	2,411,461	539
	印刷製本費	2,544,000	2,543,047	953
	用品（教材）費	54,949,000	54,948,609	391
	旅費交通費	3,865,000	3,864,924	76
	奨学費	20,318,000	20,317,800	200
	教育研究委託費	2,061,000	2,060,009	991
	研究費	566,000	565,224	776
	修繕費	2,056,000	2,055,976	24
	教育指導費	11,833,000	11,832,477	523
	進路指導費	1,917,000	1,916,662	338
	学生福利厚生費	405,000	404,419	581
	学生活動補助費	0	0	0
	管理経費	312,855,000	312,844,859	10,141
	消耗品費	2,592,000	2,591,266	734
	光熱水費	23,830,000	23,829,967	33
	旅費交通費	2,172,000	2,171,037	963
	車輛費	14,762,000	14,761,660	340
	福利厚生費	3,125,000	3,124,206	794
	通信費	5,456,000	5,455,233	767
	印刷製本費	3,456,000	3,455,922	78
	修繕費	5,398,000	5,397,980	20

		損害保険料	12,218,000	12,217,188	812
		賃借料	4,841,000	4,840,793	207
		公租公課	2,491,000	2,490,380	620
		広報費	7,611,000	7,610,618	382
		学生募集費	41,038,000	41,037,188	812
		学生募集直接経費	9,619,000	9,618,332	668
		諸会費	2,837,000	2,836,775	225
		会議費	1,550,000	1,549,365	635
		交際費	3,775,000	3,774,948	52
		業務委託手数料	72,806,000	72,805,654	346
		補助活動事業	10,849,000	10,848,638	362
		図書費	668,000	667,633	367
		減価償却費	79,594,000	79,593,247	753
		雑費	2,167,000	2,166,829	171
		徴収不能額	12,755,000	12,754,661	339
		徴収不能引当金繰入額	2,418,000	2,417,775	225
		徴収不能額	10,337,000	10,336,886	114
		教育活動支出計	938,570,000	938,552,559	17,441
		教育活動収支差額	86,095,300	86,116,417	△ 21,117
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金			
		その他の受取利息・配当金	1,134,000	1,134,727	△ 727
					0
		教育活動外収入計	1,134,000	1,134,727	△ 727
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	1,134,000	1,134,727	△ 727
		経常収支差額	87,229,300	87,251,144	△ 21,844
特別収支	事業活動収入の部		52,331,000	52,331,160	△ 160
	事業活動支出の部		32,762,000	32,761,468	532
		特別収支差額	19,569,000	19,569,692	△ 692
		基本金組入前当年度収支差額	106,798,300	106,820,836	△ 22,536
		基本金組入額合計	0	0	0
		当年度収支差額	106,798,300	106,820,836	△ 22,536
		前年度繰越収支差額	△ 2,681,365,607	△ 2,681,365,607	0
		基本金取崩額	5,859,497	5,859,497	0
		翌年度繰越収支差額	△ 2,568,707,810	△ 2,568,685,274	△ 22,536

(参考)

事業活動収入	1,078,130,300	1,078,134,863	△ 4,563
事業活動支出	971,332,000	971,314,027	17,973

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,389,080,097	3,454,244,993	△ 65,164,896
有形固定資産	3,000,801,278	3,007,287,023	△ 6,485,745
土地	1,495,273,407	1,495,273,407	0
建物	1,108,062,711	1,159,515,655	△ 51,452,944
建物付属設備	185,834,639	153,095,822	32,738,817
構築物	70,285,101	70,662,179	△ 377,078
教育研究用機器備品	65,392,744	60,093,486	5,299,258
管理用機器備品	14,953,032	16,581,474	△ 1,628,442
図書	0	0	0
車両	60,999,644	52,065,000	8,934,644
特定資産	309,483,947	315,602,475	△ 6,118,528
退職給与引当特定資産	309,483,947	315,602,475	△ 6,118,528
その他の固定資産	78,794,872	131,355,495	△ 52,560,623
電話加入権	1,054,522	1,054,522	0
施設利用権	796,306	796,306	0
出資金	75,000	75,000	0
保証金	250,000	1,250,000	△ 1,000,000
自動車リサイクル預託金	811,220	687,000	124,220
保険積立金	35,554,224	50,162,310	△ 14,608,086
ソフトウェア	453,600	453,600	0
有価証券	0	26,876,757	△ 26,876,757
成田袖ヶ浦貸借仮勘定	39,800,000	50,000,000	△ 10,200,000
流動資産	1,445,742,344	1,292,066,271	153,676,073
現金	990,777	1,469,989	△ 479,212
預金	1,410,333,628	1,253,694,734	156,638,894
未収入金	34,386,905	35,570,658	△ 1,183,753
仮払金	0	0	0
前払費用	31,034	1,330,890	△ 1,299,856
資産の部合計	4,834,822,441	4,746,311,264	88,511,177

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	401,857,822	407,001,661	△ 5,143,839
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	401,857,822	407,001,661	△ 5,143,839
流動負債	730,266,132	743,087,132	△ 12,821,000
短期借入金	0	0	0
授業料前受金	142,735,650	156,231,200	△ 13,495,550
入学金前受金	44,415,000	53,386,668	△ 8,971,668
実験実習料前受金	84,350,000	91,055,000	△ 6,705,000
施設設備資金前受金	69,305,000	76,600,000	△ 7,295,000
分割納入前受金	102,353,087	84,240,500	18,112,587
未払金	12,028,607	10,425,525	1,603,082
預り金	227,103,524	221,148,239	5,955,285
仮受金	47,975,264	50,000,000	△ 2,024,736
負債の部合計	1,132,123,954	1,150,088,793	△ 17,964,839
純資産の部			
科 目	年度末	前年度末	増 減
基本金	6,271,728,581	6,277,588,078	△ 5,859,497
第1号基本金	6,271,728,581	6,277,588,078	△ 5,859,497
繰越収支差額	△ 2,569,030,094	△ 2,681,365,607	112,335,513
翌年度繰越収支差額	△ 2,569,030,094	△ 2,681,365,607	112,335,513
純資産の部合計	3,702,698,487	3,596,222,471	106,476,016
負債及び純資産の部合計	4,834,822,441	4,746,311,264	88,511,177

(注 記)

1. 重要な会計方針

引当金の計上基準

①徴収不能引当金

・・・ 学納金（直近の納入期限のものを除く）にかかる期末未収入金残高の半額が徴収不能金引当金残高となるよう繰入を行っている。

②退職給与引当金

・・・ 退職金の支給に備えるため、期末要支給額414,931,847円を基にして（財）全国中小企業共済財団特定退職金累計額13,074,025円との繰入調整額を加減した学園独自の要支給額 401,857,822円の 100%を計上している。

2. 重要な会計方針の変更等

・・・ 該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

3,267,057,254円

4. 徴収不能引当金の合計額

21,655,025円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土 地 . . . 該当事項なし。

建 物 . . . 該当事項なし。

6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入を行うこととなる金額

0円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資産を有していない場合のその旨と対策

. . . 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

. . . 該当事項なし。

監 査 報 告 書

令和7年5月17日

学校法人 日栄学園

理事長 矢部 明 殿

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

学校法人 日栄学園

監事 小泉吉則 

監事 小倉久和 

私たちは、学校法人日栄学園の監事として、私立学校法第52条に基づいて
同学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）におけ
る財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表）
を含め、学校法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行状況に関し監
査を行いました。

監査の結果、私たちは学校法人日栄学園の令和7年3月31日現在の財産目
録及び計算書類を含め、学校法人の業務と財産の状況及び理事の職務の執行の
状況について不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のな
いことを認めました。

以 上